

委員名*	行番号 (e.g. 17)	箇条/細分箇条* (e.g. 3.1)	段落/図/表/ (e.g. 表 1)	コメント タイプ*	コメント*	修正案	検討結果・対応案
下川	59			ge	この文章が必要なのですか。その背景がありましたら教えてください。		<p>“この規格で規定する試験は腐食試験ではないので、腐食試験として適用は不可能である。”は原文 “These tests are not corrosion tests and cannot be considered and used as such.”に対応した訳です。明確化のために、表現を次のよう変更いたします。</p> <p>“この規格で規定する試験は腐食試験ではないので、この規格は腐食試験には適用しない。”</p>
下川	120		図 1	ge	R <sub>b</sub> の欄の左右両方の線の意味は何ですか。		<p>対応国際規格を参考にしたもので、線が両側にある必要はないので、片側を削除いたします。</p> <p>JIS C 60068-2-18 図 1 改参照</p>
下川	177		図 2	ge	回転軸は Z <sub>0</sub> ですか。Z <sub>1</sub> 軸の回転の記号(?)の意味は何ですか。		<p>164 行目の記載「通常の動作位置から傾け、傾けた軸に垂直な平面で供試品を回転させるようにする。」に対応した図で、傾けた軸 Z<sub>0</sub>と回転の記号とで説明するものです。</p>
岩本	223			確認	降雨強度の定義は 148-149 行にありますが、223 行では数値の上下に添え字があります。これらの数字は、上添字 + 3 0 が傾き角度 下添字 0 が時間を表すということでしょうか。このような記載は一般的なのでしょうか（上下添え字に記入すべき内容も含めて。）		<p>JIS Z 8301 の 9.3.3（許容差による表し方）「基準値の後に、プラス側の許容差には“+”，マイナス側の許容差には“-”，及び両側に等しい値の許容差には“±”の記号を付ける。た</p>

コメントタイプ: ge = 一般的 te = 技術的 ed = 編集上

\*欄（委員名・箇条/細分箇条、コメントタイプ、コメント）：必須入力。入力されていないと投票システム（National Ballots）が適切に作動しません。

コメントテンプレートはいかなる方法でも変更しないでください（例えば、列の削除・追加、セルのマージなど）。変更した場合、投票システム（National Ballots）が適切に作動しません。

委員名*	行番号 (e.g. 17)	箇条/細分箇条* (e.g. 3.1)	段落/図/表/ (e.g. 表 1)	コメント タイプ*	コメント*	修正案	検討結果・対応案
							だし、許容差がゼロの場合には、記号を付けない。」に沿った表示となります。  148-149 は 9.3.3 の例 1、223 は 9.3.3 の例 3 に沿った表現となります。223 では上添え字がプラス側の許容差を、下添え字がマイナス側の許容差が零であることを示します。
加藤	282  797 ほか	6.2.2.1  D.2.1.1	第 1 段落 第 3 細別  第 5 細別	ed	“取付具”とあるが、D.2.1.1 の“回転台”のことか？  図からも本文からも同じものか違うものは判別が付き辛い。同じものであるならば、規格内で用語を統一するか、又はこれが同一のものを示していることが分かるように記載する		6.2.2.1 の取付具と D.2.1.1 の回転台とは試験装置の供試品を支える台を示します。この規格の他の箇所及び参照規格 JIS C 0920 で用いる用語「支持台」に統一いたします。回転する支持台についての規定はないので、記載の追加はなしとします。全体を通して「取付具」は「支持台」と置き換えます。
加藤	431  815	6.3.1  D.2.2	第 2 段落 第 2 細別  第 1 段落	ed	“取付具”とあるが、D.2.2 の“固定具”のことか？  図からも本文からも同じものか違うものは判別が付き辛い。同じものであるならば、規格内で用語を統一するか、又はこれが同一のものを示していることが分かるように記載する		6.3.1 の取付具と D.2.2 の固定具とは試験装置の供試品を支える台を示します。この規格の他の箇所及び参照規格 JIS C 0920 で用いる用語「支持台」に統一いたします。回転する支持台に対する記載を 815 行に追加いたします。  「原案」なるべく回転可能なことが  「修正」なるべく回転可能な回転台とすることが

コメントタイプ: ge = 一般的 te = 技術的 ed = 編集上

\*欄 (委員名・箇条/細分箇条、コメントタイプ、コメント) : 必須入力。入力されていないと投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

コメントテンプレートはいかなる方法でも変更しないでください (例えば、列の削除・追加、セルのマージなど)。変更した場合、投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

委員名*	行番号 (e.g. 17)	箇条/細分箇条* (e.g. 3.1)	段落/図/表/ (e.g. 表 1)	コメント タイプ*	コメント*	修正案	検討結果・対応案
加藤	506 507 828	6.4.1  D.2.3	第4段落 第2細別  第4段落 細別 a)	ed	“取付具”とあるが、D.2.3の“回転台”のことか？  図からも本文からも同じものか違うものは判別が付き辛い。同じものであるならば、規格内で用語を統一するか、又はこれが同一のものを示していることが分かるように記載する		ここの取付具と回転台とは試験装置の供試品を支える台を示します。この規格の他の箇所及び参照規格 JIS C 0920 で用いる用語「支持台」に統一いたします。回転する支持台に対する記載を 508 行に追加いたします。  「原案」回転台は、  「修正」回転台（ <u>回転する支持台</u> ）は、
藤原	512	6.4.2			他の箇所と整合を取った方が良いのではないかと。  「水圧は (15±1) L/min の送水速度となるように調整し、水温は (80±5) °C とする。」	どちらかに統一（左記または下記）  「水圧は 15 L/min±1L/min の送水速度となるように調整し、水温は 80°C±5°C とする。」	「水圧は 15 L/min±1 L/min の送水速度となるように調整し、水温は 80 °C±5 °C とする。」に統一いたします。  同様に図 D.8 の記号の許容差の表記を次に修正いたします。  15 L/min±1 L/min 20 °C±5 °C
藤原	574 617	7.2.3 7.3.3			同じ意味であれば他の箇所（箇条 5、箇条 6）と整合を取った方が良いのではないかと。  「供試品及びシールの前処理を行う」	どちらかに統一（左記または下記）  「供試品及び封止の前処理を行う」	「供試品及び封止の前処理を行う」に統一いたします。
加藤	742 768	☒ C.1 ☒ C.2		ed	☒ C.1 は引用されている箇条のすぐあとに、☒ C.2 は附属書の最後にあるが、どちらかに統一してはどうか	☒ C.1 を後ろに移動、又は☒ C.2 を C.2.2 のすぐ後に移動	☒ C.1 を附属書の☒ C.2 の前に移動いたします。
藤原	755	C.3.1			数式のあとの「mm/h」は単位か。記載は不要ではないかと。	JIS Z 8301 への準拠を確認	数式の後の「mm/h」を削除します。また、規格利用者の利便性を図るため、次

コメントタイプ: ge = 一般的 te = 技術的 ed = 編集上

\*欄 (委員名・箇条/細分箇条、コメントタイプ、コメント) : 必須入力。入力されていないと投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

コメントテンプレートはいかなる方法でも変更しないでください (例えば、列の削除・追加、セルのマージなど)。変更した場合、投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

委員名*	行番号 (e.g. 17)	箇条/細分箇条* (e.g. 3.1)	段落/図/表/ (e.g. 表 1)	コメント タイプ*	コメント*	修正案	検討結果・対応案
							の前置き文を修正して単位記号を追加いたします。 「旧」カップ位置での降雨強度 R は、次の式による。 「新」カップ位置での降雨強度 R (mm/h) は、次の式による。
加藤	782	D.1	最終段落	ed	“選択した場合”と“供試品の場合”とあるが、“場合”が同格ではないと思われるので、後の方の表現を変える	方法 Rb1 を選択した場合、揺動管の半径が 1 600 mm を超えないような大きさ及び形の供試品のときは、	ご提示の修正案に修正いたします。
加藤	802	図 D.1		ed	図 D.1 だけ引用されている箇条にあるが、附属書 D の他の図は最後にまとめられているので、図 D.1 の前に移動してはどうか	図 D.1 を後ろに移動、又は附属書 D の他の図を引用されている細分箇条に移動	図 D.1 を附属書の図 D.2 の前に移動いたします。
加藤	802	図 D.1	注記 4 2 行目	ed	“得られた結果が”を現在形に→得られる結果が	得られた結果が → 得られる結果が	「得られる結果が」に修正いたします。768 行目、図 C.2 の注記 2 の 2 行目の同一の記載についても、同じく修正いたします。
藤原	827	D.2.3			他の箇所と整合を取った方が良いのではないかと。 「水温は (80±5) °C とする」	どちらかに統一（左記または下記） 「水温は 80°C±5°C とする」	「水温は 80 °C±5 °C とする」に統一いたします。
加藤	835	図 D.3	注記 2 行目	ed	“得られた結果が”を現在形に→得られる結果が	得られた結果が → 得られる結果が	「得られる結果が」に修正いたします。
若月	843	D.2.3	図 D-7	ge	ノズルの表面仕上げの良い例と悪い例の写真が載っています。悪い例の方は特に○で囲ってある部分はもとより、他の部分についても良い例より仕上げが荒い感じがします。（写真の精度による？）この仕上げ具合が水流に影響を及ぼすのでしょうか？とすれば写真だけでなく、言葉でも明確に説明した方がよいのではないのでしょうか。		D.2.3 の最初の記載に続けて、次の記載を追記いたします。 「図 D.7 はファンジェットノズル孔の表面仕上げの例で、水流に影響を及ぼす可能性のある悪い表面仕上げの例（○で囲った部分）及び適正な水流を供給する良

コメントタイプ: ge = 一般的 te = 技術的 ed = 編集上

\*欄 (委員名・箇条/細分箇条、コメントタイプ、コメント) : 必須入力。入力されていないと投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

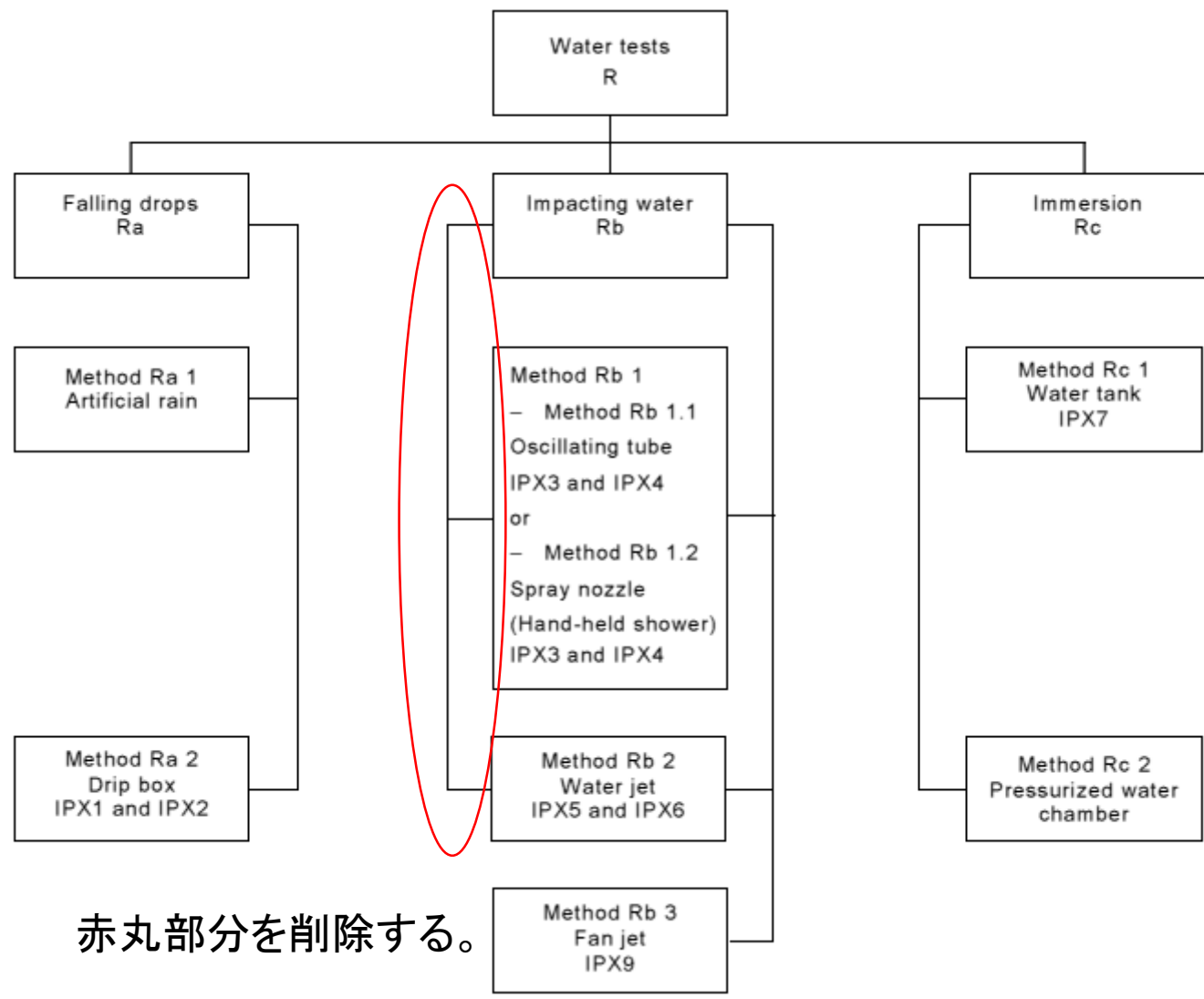
コメントテンプレートはいかなる方法でも変更しないでください (例えば、列の削除・追加、セルのマージなど)。変更した場合、投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

委員名*	行番号 (e.g. 17)	箇条/細分箇条* (e.g. 3.1)	段落/図/表/ (e.g. 表 1)	コメント タイプ*	コメント*	修正案	検討結果・対応案
							い表面仕上げの例を示す。」
事務局	75-77				ISO 及び IEC は 標準化に用いる用語のデータベースを次のアドレスで管理している。 – IEC Electropedia: <a href="https://www.electropedia.org/">https://www.electropedia.org/</a> – ISO Online browsing platform: <a href="https://www.iso.org/obp/ui">https://www.iso.org/obp/ui</a>	削除	手引き (第 19 版) には、記載することとありますが、誤りであるために削除いたします。
事務局	305			ed	(単位 L/min) 0.6±0.03 %	(単位 L/min) 0.6±0.03	誤って記した単位 “%” を削除して  (単位 L/min) 0.6±0.03 といたします。
事務局	372			ed	10 L/min±0.5 %	10 L/min±0.5 L/min	対応国際規格の表現 “10 L/min ± 5 %” に対して基準値と許容差の単位を揃えて記載いたします。
事務局	768		図 C.2	ed	回転する支持台	回転支持台	5.3.1 の偏心度が 100 mm の回転する支持台を示す用語「回転支持台」と統一いたします。

コメントタイプ: ge = 一般的 te = 技術的 ed = 編集上

\*欄 (委員名・箇条/細分箇条、コメントタイプ、コメント) : 必須入力。入力されていないと投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

コメントテンプレートはいかなる方法でも変更しないでください (例えば、列の削除・追加、セルのマージなど)。変更した場合、投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。



赤丸部分を削除する。